

別紙 2

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 6 年 11 月 9 日

設置・運営主体	上尾市		
設置主体	上尾市		
経営主体	上尾市		
事業所名 (施設名)	上尾市立大谷西保育所	種別	保育所
所在地	〒 362-0082 埼玉県上尾市吉丁目東22-1		
電 話	048-725-1200		
FAX	048-725-1588		
Email	s173400@city.ageo.lg.jp		
URL			
施設長氏名	野村佳代		
調査対応担当者	野村佳代 (所属、職名：大谷西保育所・所長)		
利用定員	90 名	開設年	令和 5 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p>理念</p> <ol style="list-style-type: none"> すべての児童が、心身ともに健やかに育成されるよう努める すべての児童の生活をひとしく保障し愛護する 保護者とともに、すべての児童を心身ともに健やかに育成する <p>基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 乳幼児期は生涯にわたる人間形成の基礎を培う時期であり、人として生きる力を養う。 子どもが健康、安全で、情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動することにより、健全な心身の発達を図る。 養護と教育が一体となって、豊かな人間性を持った子どもを育成する。 保護者と密接な連携をとり、保育の内容等が保護者の理解と協力を得られるよう務め、子どもの最善の利益を考慮し、子どもの福祉を重視した保護者支援を行う。 地域における子育て支援のために、乳幼児などの保育に関する相談に応じ、助言するなどの社会的役割を果たす。 			
開所時間 (通所施設のみ)	平日 7:00~19:00 土曜日 7:00~18:00		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	6	3	1		
1歳児	15	15	1		
2歳児	15	15	1		
3歳児	18	18	1		
4歳児	18	18	1		
5歳児	18	17	1		
計	90	86	6	—	—

(注) 1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		20人	
うち	保育士	16人	保健師・看護師 1人
	栄養士・調理員	4人	その他() 人
非常勤職員数		17人 (常勤換算 9.5人)	
うち	保育士	5人 (常勤換算 2.4人)	
	保健師・看護師	0人 (常勤換算 人)	
	栄養士・調理員	4人 (常勤換算 3.8人)	
	その他 (延長時間パート職員・事務員)	8人 (常勤換算 3.3人)	
(注) 常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。			
(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 人	非常勤： 人
	退職	常勤： 人	非常勤： 1人
(3) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		45歳 (43.3歳)	
(4) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		1.6年 (1.6年)	
(注) 現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。			

【実習生の受け入れ】

- ・ 令和 5 年度における実習生の受け入れ数（実数）
- | | |
|-------|------|
| 社会福祉士 | 人 |
| 介護福祉士 | 人 |
| その他 | 17 人 |

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	1069.62 m ²	
	児童 1 人あたり	11.8 m ² (計算式：建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	845 m ²	
	児童 1 人あたり	9.38 m ² (計算式：園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築（含大改築）年	令和	5 年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・ 懇談会、個別面談、保育参加を実施し、参加を呼びかけ、保育所での様子や生活を理解していただき、意見や感想を聞く機会にしている。
- ・ 行事後にアンケートをとり、結果を保護者に知らせている。意見、感想を基に職員会議等で話し合い次年度に向けて活かしている。
- ・ 保護者からの相談がしやすいように日頃より、話しやすい環境を作り、支援が必要な家庭には日頃より様子を気かけ、声かけをしている。
- ・ 利用者の意見、要望等の相談解決実施要領に基づき、苦情解決第三者制度を取り入れている。
- ・ 意見箱を設置している。

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ・発達支援相談センターとの複合施設として、児童発達支援センターつくし学園と交流（季節の行事、歌集会、リズム交流、クラス交流等）を行っている。毎月双方の職員で会議を持ち、より良い交流ができるよう心掛けている。園庭にはインクルーシブ遊具があり日常的に交流している。
- ・2階のなかよし広場は、プールを使用しない期間は開閉式の日よけを使いながら、広い空間で遊びを楽しんでおり、大型の花壇では自動散水を取り入れ、季節の草花や虫取りなどを楽しむことができる。
- ・近年のグローバル化に伴い、英語体験事業を実施している。月2回、3歳以上児を中心に実施し、講師と一緒に歌やダンスや遊びを通して楽しく英語に触れる機会を設けている。
- ・オムツのサブスクリプションを導入し、仕事と家事の両立で忙しい保護者が安心して子育てができるよう支援している。
- ・ICT「コドモン」を導入し、保護者との各種連絡、緊急時も含め情報共有の効率や利便性を高めている。
- ・上尾市内で大規模な災害が発生した場合、公立保育所の在庫として保管されている紙おむつ及びおしりふきを利用者以外の地域の方に対しても提供できる体制を整え、液体ミルクも備蓄し、災害時にも安心して子育てができる環境を整えている。

【第三者評価の受審状況】

- ・受審回数（前回の受審時期）

_____ 0 _____ 回（令和 _____ 年度）